

平成22年度予算編成方針について

1. 県政経営の基本方針

「未来を拓く共生社会」の実現に向けた戦略的な取り組みの推進

行財政改革に着実かつ徹底して取り組むとともに、県民世論調査における県民ニーズや経済情勢等を踏まえ、県の役割として特に優先すべき施策として5つの重点テーマを設定し、基本構想に掲げた「未来を拓く共生社会」の実現に向けて、施策を戦略的に推進する。

2. 予算編成の基本方針

「県民の生命とくらしを守り、次世代を育成する。」

「県政経営の基本方針」を踏まえ、「県民の生命とくらしを守る」ために、より一層の施策の重点化を図りながら、滋賀の未来を支える「次世代の育成」を目指し、平成22年度の予算を編成する。

3. 重点テーマの設定による施策の戦略的な推進

5つの重点テーマ、8つの柱に沿って取り組む具体的な施策を推進し、基本構想の実現に向けて、戦略的な取り組みを実施する。

重点テーマ

県民の「生命」を守り、「不安」を「安心」に変える

- ・保健医療・福祉提供体制の整備
- ・人を守る、地域を守る災害に強い安全な地域づくり

社会で子育て、子育てを支える

- ・地域が関わる子育て、子育ての環境づくり

琵琶湖を守り、地球を守る

- ・琵琶湖の水環境および生態系の保全と再生に向けた取組の推進
- ・地球温暖化対策の推進

未来につながる、ブランド力を生かした元気な産業を育てる

- ・環境関連産業をはじめとする地域に根ざした産業の創出・育成・集積
- ・滋賀の特性を活かした観光の推進

誇りと生きがいの生まれる雇用を創る

- ・人と人がつながる事業、成長が見込まれるサービス産業、水と緑の雇用事業の推進

4. 協働型県政への転換

県民、NPO、企業等の多様な主体と県行政が、ともに支え合い、分かち合い、高め合う、協働型県政への転換を図る。

5. 財政健全化に向けた着実な取り組み

巨額の財源不足に対応するため、財政構造改革プログラム等の取り組みを着実に実行するとともに、関係機関との協議を踏まえつつ、収支改善に向け更に一層の見直しを行うことにより、財源不足の縮減に取り組む。